



世界への
プレゼントに
なろう

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

WEEKLY REPORT

No.2820 2015年10月26日

事務所 ひたちなか市海門町二丁目 8-13 ひたちなか商工会議所那珂湊支所内
 TEL.029(263)7811 例会日 毎週月曜日 12:30
 FAX.029(263)6859 例会場 常陽銀行湊支店二階会議室
 URL : <http://www.nakaminato-rc.com/>

★ 点 鐘

卯野福弥会長
 ロータリーソング「奉仕の理想」
 司会 奥山正紀SAA

★ 出席報告

榎木直行委員長
 会 員 数 32名
 出 席 者 16名
 欠 席 者 14名
 出席免除者 2名
 メークアップ 14名
 出 席 率 100.0%

★ 会長挨拶

卯野福弥会長
 懸案でありましたガバナー補佐の選出についてですが、先週の月曜日にパスト会長会議を開きまして、鹿志村吉信会員に快く引き受けていただくことになりましたので、皆さんにお知らせしておきます。皆さんで拍手をもってこれからの鹿志村さんのご活躍をお祈りしたいと思います。

さて、昨日はひたちなか市議会議員一般選挙でしたが、私は選挙管理委員として、午前中は

湊地区の13箇所の投票所巡視、午後6時半からは松戸体育館に集まり開票の準備、そして午後9時からの開票に立ち会い、帰宅したのが今日の午前1時でした。

投票率アップのために、10月14日には勝田駅前選挙に係る街頭啓発を実施しました。また、投票環境の向上を図るため、期日前投票所をこれまでの市役所及び那珂湊支所の2か所から1か所増設し、佐野コミュニティセンターでも期日前投票ができるようにしました。これまでと変わったことは、今回の市議選で期日前投票所のアルバイトとして高校生16人を初めて採用しました。改正公選法の成立で、選挙権年齢が18歳に引き下げられたことから、若年層の政治への関心や投票意識を高めるのが狙いです。いずれにしても投票率のアップが求められているのが現状です。前回（4年前）の市議会議員一般選挙の投票率は、50.33%で今回は53.47%でしたので3.14ポイント増えました。これからもいろいろな選挙がありますので、投票率のアップに努めていたいと思います。

★ 幹事報告

遊座文郎幹事
 ガバナー公式訪問について

皆様のお手元に当日のスケジュール表を配布しておきました。

期 日 平成27年11月16日(月)10:30～18:00

昨年は、10:00集合、10:30ガバナーご到着でしたが、ガバナーのご負担も考慮して10:30集合、11:00ガバナーご到着とします。

- 10:30 会長・会長エレクト・幹事・副幹事・
地区役員 藤屋ホテル集合
- 10:40 藤屋ホテルにてガバナーお出迎え
倉沢修市ガバナー・糸賀祥治副幹事・清水
貞一ガバナー補佐・望月明男セクレタ
リー
- 11:00 ガバナーとの協議 ガバナー・地区副幹
事・ガバナー補佐・セクレタリー
- 11:50 ガバナーとの協議終了
- 11:55 湊公園に移動して電波時計の見学
- 12:00 親睦活動委員会集合 会場準備
- 12:15 会員 例会場集合
- 12:20 会員 例会場着席
- 12:25 ガバナー・地区副幹事・ガバナー補佐・セ
クレタリー例会場入場
- 12:30 例会開始 点鐘・国歌斉唱・ロータリーソ
ング唱和(司会SAA)
会長挨拶
お客様紹介:ガバナー・地区副幹事・ガバ
ナー補佐・セクレタリー(会長より紹介)
会食(藤屋ホテル用意)
- 12:50 出席報告・各委員会報告
- 13:00 ガバナー挨拶
- 13:30 例会終了 点鐘
(写真撮影のための例会場準備)
- 13:40 ガバナーを囲んで記念撮影(全員)
- 13:50 クラブ協議会開始(司会:会長)
- 14:50 休憩10分間(コーヒータイム)
- 15:30 ガバナー講評・ガバナー補佐感想・
会長挨拶
- 15:50 クラブ協議会終了 藤屋ホテルへ移動
- 16:00 ガバナーを囲んでの懇談会開始
(懇談会)(司会:SAA)
会長挨拶
ガバナー補佐挨拶
乾杯:() (司会:親睦活動委員会)
懇談
ガバナー退席・お見送り・中締め

【ご協力をお願い】

1. 全員出席をお願いします。
2. 時間厳守・途中退席・私語厳禁・携帯電話はマナーモード

3. クラブ現況報告書を必ずご持参下さい。
4. バッチを必ず着用して下さい。
5. ネクタイ着用をお願いします。

★ごあいさつ

鹿志村吉信会員

先日来お忙しいところ何回もパスト会長会議を開催され、不肖私に次期第2分区ガバナー補



佐にとの白羽の矢が向けられていたのは覚悟しておりました。「仕事の関係や、体力的なこと等を考え、態度を保留していましたが、何時までも返事を固辞しては申し訳なく思い、卯野福弥会長を始め全会員皆様のご協力を得ることを第一条件とし、私の出来る限りの努力をします。」と一言でお引き受けすることといたしました。どうぞよろしく願いいたします。

★卓話

「講演会の総括」

常盤昌敬会員



本日の卓話は、去る7月7日に、那珂湊中学校で行われたキャリア講演会の総括をします。

卓話の構成は、

1. 活動の概要(報告)
2. 講演会の感想
3. 課題等

の順でお話しします。なお、講演会に到る経緯などは、実施の前にもお話ししましたので、今回は省略させていただきます。

1. 活動の概要



まず、講師と学校との調整をしました。日時や講演時間、内容等、自分が窓口になり、ほとんどはメールと電話を使い済ませました。また、会場・機材・看板・案内状等はすべて学校の方で用意してくれました。準備段階で注意した点は、押しかけ・押しつけにならないように学校の都合にあわせたこと、講師が学生ですので、すごい重圧や負担がかからないように配慮したこと、クラブ理事会の了解を経て進めたこと、などです。講演会当日は、体育館で午後2:30頃から全校生徒を対象に、教諭や保護者、講師(内山氏)の関係者なども参加して約1時間あまりの講演会を行いました。当クラブからも会員(海後、卯野、高田、磯崎、岡田 菊池、常盤)が参加し、傍聴しました。当クラブが存続していれば、100周年事業を實行するときの主力年齢になるであろう後輩たちへの講演でもあるので、この企画担当者として成功裏に終わってほしい、という思いで見守りました。講演は「- (マイナス) から+ (プラス) へ」のテーマで、生徒と対話しながら、自己紹介、家族・経歴・得意なことなどから始まり、現在の所属・未来の夢・教育実習・それまでの失敗、挫折、いじめ、お金の価値観・感覚、人との関わり方など、多岐の内容で進行しました。講演の最後には、質疑応答の時間を設けました。クラブを代表して卯野会長のお話、クラブからの目録(謝礼)を授与し、講演会は終了しました。

2. 感想

まず、内山さんの講演に対しての私の感想は、生徒の目線で、フレンドリーでよい雰囲気で作れて、内容にうそ臭さがなく、声や態度など元気で情熱的で爽やかで全体的に、よかったと思います。ただ、時間の配分に



少し難があり、話の核心部に十分な時間を使えなかった感があり、そこだけが残念だと思いました。内山さんの感想(メールを頂いた)も紹介します。「この度は貴重な経験を与えていただき、ありがとうございました。時間がおおしてしまったことや、中身がぐちゃぐちゃとしたことが反省になりますが、今後の活動で改善しながら、今回の講演会を生かしていきたいと思いません。また、感想をいただきまして、とてもありがたいことと思っております。少しは教育実習の成果も出せたのかなと感じられて、嬉しいです。まだまだ未熟ですが、ぜひ活動に参加させていただければ、勉強になります。今日からまた学ぶ学生に戻りますが、今度の活動がある際にお会いしたときにはより成長した姿でお話できるよう、頑張ります。今後もご支援をよろしくお願ひします。」つぎに、那珂湊中学校から約1ヶ月後に届いた感想などを紹介します。生徒の感想文には、ためになったことについてや、これから頑張りたいなど、一字一句に心が入った文字で書き記されていて、感激しました。続いて、教諭の感想・意見・アンケートもありましたので紹介します。ほとんどの先生が好意的で、絶賛する内容の感想・意見も多かったのですが、「理解できない」、「やらないほうがよかった」などの否定的意見があったことに、驚きました。

ともかく、このように実施した活動に対して反応があることは、大変うれしく、ありがたく思います。詳しくは、資料をご覧ください。(学校からの資料は、閲覧できるよう、指定の場所に保管します。)

3. 課題等

私は今回の活動のような、地域の児童・生徒の育成等に関わる活動こそロータリーにふさわしいと、考えています。しかし、会員の総意がないと、良い活動・事業に発展していくのは難しいと思っています。今後は、活動の内容や継続性・発展性などについて、会員間で検討し理解を深め、意義を共有することが大事だと思います。



ロータリー情報 2015

基本の樹 ようこそロータリーへ

(前号の続きです)

◇ 奨学金の種類

○ 学部課程・修士課程・博士課程ロータリー米山奨学金高専専攻科・大学・大学院生対象の代表的プログラム(月額 学部10万円・修士14万円・博士14万円)。募集は、各地区の米山奨学委員会が定めた指定校による推薦制で、地区では被推薦者を面接選考して合格者を決定します。奨学生が世話クラブに通える範囲内で、地区外の大学も指定校にできます。

○ 地区奨励ロータリー米山奨学金 大学・大学院以外の教育機関を対象とするプログラム(月額7万円)。地区の裁量によって、短大・高専・専修学校などを指定校にし、在籍する留学生を支援できる制度です。奨学金額が修士・博士課程の半額である代わりに、通常の1人分の枠につき2人を採用できます。

○ クラブ支援ロータリー米山奨学金 上級課程に進学する奨学生のための延長制度(月額14万円)。世話クラブが、期間を延長して奨学生を支援したい場合に適用される制度です。延長期間の奨学金の半額は、世話クラブ負担となります。従来は、博士号取得見込者に限っていましたが、新制度では、上級課程への進学者にも拡大しました。

○ 現地採用ロータリー米山奨学金 優秀な人材を日本に招聴・支援する新プログラム(月額7万円)「日本に来るチャンスのない優秀な人材を発掘し、支援したい」。長年のロータリアン

の夢を実現したのがこのプログラムです。第1期試行はベトナムを対象とし、進行中です。現地の大学や米山学友の協力を得ながら、選考試験には日本のロータリアンが出向き、その目で確かな人材を選んでくるのが特徴です。

○ 海外学友会推薦ロータリー米山奨学金 海外学友会と共同で行う上級研究員招聴プログラム(月額14万円)。韓国と台湾の各学友会が中心となってそれぞれの国内で候補者を募集・選考し、米山奨学会選考委員会で採用を決定するプログラムです。海外学友会の活性化と現地での米山奨学金の認知度向上に貢献していますが、すでに博士号を取得した上級研究員が対象であり、留学生支援というより研究助成に近いプログラムです。

◇ ロータリー米山奨学制度の特色

米山奨学生を支える制度の特色が、「世話クラブ・カウンセラー制度」。単なる奨学金による経済的な支援だけでなく、この2つの制度による、心の通った支援があります。

世話クラブとは、あるクラブが、1人の奨学生の「世話クラブ」となることです。世話クラブが奨学金の受け渡しも行いますし、米山奨学生には世話クラブの例会に月に一度出席してスピーチしてもらったり、クラブの奉仕活動に参加してもらったりします。ロータリアンと積極的に交流し国際交流・相互理解を深めつつ、ロータリーの奉仕の心を学んでもらうのです。

カウンセラー制度とは、奨学生1人に対し、世話クラブのロータリアンの中から、1人がカウンセラーとなる制度。カウンセラーは、奨学生の個人的ケアにあたるアドバイザーです。

ロータリークラブはさまざまな職業、世代で構成されています。ロータリーならではの幅の広い交流は、奨学生が日本文化に接し、将来や奉仕について考えるよい機会です。同時に、世話クラブ・カウンセラー制度という特色は、米山奨学生とロータリアンの間に絆を生み出すもので、これは両者にとって、二つの国にとって、未来への財産となるものでしょう。

詳細は、(財)ロータリー米山記念奨学会のホームページwww.rotary-yoneyama.or.jpをご覧ください。ロータリーの友(2007年2月号)

倉沢修市ガバナー 公式訪問日程

11月16日

初心にかえり新たなる一歩を



「出席はロータリアンの3大義務の1つです」